

超小型衛星に搭載可能な展開型アンテナの研究開発及び概念実証

事業概要（フェーズ 1）

内容

低周波数帯の電波観測に活用でき、CubeSatクラスの超小型衛星にも搭載可能な展開型アンテナを開発し、地上試験により収納・展開の概念実証を実施する。

背景・経緯

小型衛星コンステレーションを用いた高頻度な観測による時間情報の拡張や、多様な周波数帯の観測による波長/周波数情報の拡張が求められている。低周波数帯の電波観測には数mサイズのアンテナが必要となり、それをCubeSatクラスの超小型衛星にも搭載するためには展開型のアンテナを開発する必要がある。

狙い、波及効果

超小型衛星での電波観測を実現する手段を確立することで、リモートセンシングの波長・周波数情報を拡張するとともに、超小型衛星のコンステレーションを組み合わせることで時間情報を拡張することができるようになる。

事業化

電波観測ニーズの高まりに合わせて、自社の衛星への適用、アンテナ単体の外販、当アンテナを搭載した衛星の外販を企画する。

株式会社アークエッジ・スペース

本社所在地	東京都江東区有明一丁目3番33号 ドーム有明ヘッドクォーター3階
設立/資本金	100,000千円
従業員数	113名（2024年9月現在）
事業内容	超小型衛星の設計・製作及び運用サービスの提供

